ボーリング柱状図

調査名	国道182号道路災害防除事業に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	2	2	5	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	法面頭部			北緯	34° 36' 23.9000"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成27年 8月 5日～平成27年 8月12日			東経	133° 19' 17.7000"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 403.18m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	15° 鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	32.00m	使用機種	試錐機	東邦製D0型	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーNFD10型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	402.18	1.00	1.00		表土	淡褐			砂質粘土状. 草根混入.
2	401.18	1.00	2.00		強風化泥岩	淡褐			強風化しているが，岩組織がわずかに確認できる. 砂質粘土状.
3					強風化泥岩	淡褐			固結粘土状. 全体的に固結度が高いが，指圧で土砂状となる. GL-3.5m以深は岩芯を残している. GL-4.0～6.0mは比較的良好なコアで，亀裂面も確認できる. GL-6.5m付近は粘土化.
4									
5									
6	396.38	4.80	6.80						
7					強風化輝緑岩	暗茶褐			GL-6.8m付近，逸水がみられる. 土砂状で脆いコア. 色調はやや赤みかかっている. GL-7.4～8.0m，脆弱で粘性が強い. GL-9m付近まで少量の逸水がある.
8									
9									
10	393.18	3.20	10.00						
11					強風化輝緑岩	暗茶褐			小礫～土砂状コア. 岩芯を残しており，やや硬質な固結状コアと土砂状コアを繰り返す. 深度的に岩組織が明瞭となる.
12									
13									
14	389.18	4.00	14.00						
15					風化輝緑岩	暗灰			小礫～土砂状コア. GL-16mまでは岩組織や層構造を残し，固結度が高い. GL-16m以深は比較的脆弱で粘土分を含む. GL-17.3～20m区間，風化粘土化が進み，淡褐灰色となる. 特にGL-17.6～17.8m間の変質が著しく，白色化している.
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22	381.18	8.00	22.00						
23					弱風化輝緑岩	緑褐灰			岩片～礫状コア. 部分的に土砂状コアを含んでいる. 岩片は全体的に硬質であるが，一部は風化が進み脆弱となっている. 亀裂面は褐色化している. 概ね良好な軟岩と評価できるが，
24									
25									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	8/6 6.90
	8/7 7.80
	8/10 16.70
	8/12 21.67

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	7	9	11	27/30	27
1.45					
2.15	12	18	20/9	50/29	52
2.44					
3.15	13	18	19/8	50/28	54
3.43					
4.10	27	23/8		50/18	83
4.28					
5.10	21	29/8		50/18	83
5.28					
6.10	16	28	6/2	50/22	68
6.32					
7.10	18	17	15/6	50/26	58
7.36					
8.15	10	12	17	39/30	39
8.45					
9.10	14	25	11/3	50/23	65
9.33					
10.10	18	25	7/2	50/22	68
10.32					
11.10	18	21	11/4	50/24	63
11.34					
12.10	19	25	6/2	50/22	68
12.32					
13.10	20	30/7		50/17	88
13.27					
14.10	11	19	20/5	50/25	60
14.35					
15.10	16	34/9		50/19	79
15.29					
16.10	13	20	17/7	50/27	56
16.37					
17.10	22	28/7		50/17	88
17.27					
18.10	13	23	14/5	50/25	60
18.35					
19.05	50/6			50/8	188
19.13					
20.10	20	30/8		50/18	83
20.28					
21.10	23	27/8		50/18	83
21.28					
22.05	50/6			50/8	188
22.13					
23.10	26	24/5		50/15	100
23.25					
24.02	50/4			50/4	375
24.06					
25.00	貫入不能			50	

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				8/5
				8/6
				8/7
				8/9
				8/10

26					弱風化輝緑岩	緑褐灰			岩の状態は不均質である.				25.00	貫	入	不	能	50/0	50g上													
													26.02	50/8				50/8	188													
	376.58	4.60	26.60										26.10																				
27					輝緑岩	暗緑灰			短棒状コアを主体とする.				27.00	貫	入	不	能	50/0	50g上													
28									所々亀裂が発達し，岩片状～礫状となる. 岩片は硬質で，風化度が小さい.				28.00	貫	入	不	能	50/0	50g上												8/11	
29									最長で25cm程度の棒状コアを含む.				29.00	貫	入	不	能	50/0	50g上													
30									全体的にコアの周形を保っている.				30.00	貫	入	不	能	50/0	50g上													
31													31.00	貫	入	不	能	50/0	50g上													
32	371.18	5.40	32.00										32.00	貫	入	不	能	50/0	50g上												8/12	
33																																	
34																																	
35																																	
36																																	
37																																	